

# 華やかに五輪開幕



信濃毎日新聞社  
長野本社 〒380-8546  
長野市南県町 657番地  
電話(026)  
受付236-3000編集236-3111  
販売236-3310広告236-3333  
松本本社 〒399-8711  
松本市宮田 2番10号  
電話(0263) 編集25-2151  
販売... 広告... 事業25-2153  
©信濃毎日新聞社1998年

## 参加国・地域 史上最多の72 世界結び「歓喜」大合唱



平和への祈りを込めてリレーされたトーチの火が伊藤みどりさんによって聖火台にともされた(午後0時41分)

第十八回冬季五輪長野大会は七日、長野市の南長野運動公園で開会式を行い、二十世紀最後の冬季五輪が幕を開けた。史上最多の七十二の国・地域から選手・役員約三千五百人が参加。二十二日までの十六日間、長野市、北安曇郡白馬村、下高井郡山ノ内町、同野沢温泉村、北佐久郡軽井沢町の五市町村を会場に、七競技六十八種目で競い合う。

善光寺の鐘で午前十一時、開幕。諏訪の御柱祭、建御柱、大相撲横綱曙関の土俵入りで会場を清めた。観客は五万人。「雪ん子」百五十人が、平和への思いを込め躍動した。

選手団はギリシャに続いてアルファベット順で入場。最後に日本選手団が登場した。国際オリンピック委員会のサマランチ会長は「平和でより良い世界を共に築きましよう」とあいさつ。天皇陛下が開会を宣言した。

五万人が入った会場は、世界が一つになったことを示す「桜の花」の形。地雷で右手足を飛ばされたクリス・ムーソンさんが聖火を掲げて走る。ハワイ生まれの横綱が、日本の伝統文化を代表して上がった舞台上、「ヨイシヨ」の大

声。選手たちの中には、紛争の苦しさ、悲惨な思いを抱えた人もいる。迎えるのは子供たちの歌と踊り。そして、五大陸の声をハイテクで結んだ合唱「歓喜の歌」だ。希望を持つ。力いっぱい生きよう。「戦争の世紀」最後の冬季五輪が、平和の実現を目指し、世界に向けて声を上げた。

号外  
長野五輪  
第1日

携帯電話・ポケットベル サービス  
**NTT DoCoMo**  
伝えよう世界へ、長野の感動。 NTT移動通信網株式会社 長野支店  
URL <http://www.nagano.nttdocomo.co.jp/>  
Official 携帯電話・ポケットベル サービス  
ドコモはNTTグループとして長野オリンピックを応援しています。